

目次

■プログラム	ご挨拶	vi
	日程表	ix
	会場へのアクセス	x
	会場内案内	xii
	参加者へのご案内	xiv
	参加される皆様へのお願い	xv
	講師・演者及び座長の皆様へ プログラム一覧	xvi xviii
■抄録		
基調講演	「生きる」	79
教育講演	「在宅医療の歴史」	80
鼎談	「さいごまで「自分らしく」あるためにホスピスの現場から」	81
朗読座公演	「さがりばな」	83
特別講演	「がんと向き合う ～自分の身体と時間を大切に～」	85
映画 一般公開	「ピア」～まちをつなぐもの～	86
シンポジウム 1	ACP① ACPへの期待	87
シンポジウム 2	ACP② 「私たちの話よね」	93
シンポジウム 3	ACP③ その人らしさの尊重と自己決定権をACPから考える	101
シンポジウム 4	ACP④ 「看取り期における利用者の思いに寄り添うケアマネジャーのホンネ」	106
シンポジウム 5 (市民部会企画)	ACP⑤ 市民の目線によるACP（アドバンスケアプランニング）を考える	108
シンポジウム 6	ACP⑥ ACPのチームに臨床宗教師・スピリチュアルケア師は参画できるか？	110
シンポジウム 7	山梨県の小児在宅医療の現状と取り組み	112
シンポジウム 8	語ろう！「どこでもない、ここがいい」を	118
シンポジウム 9 (公開講座)	山梨の看取り	123
シンポジウム 10	「障害者支援に対する迷いとジレンマ」～自己決定、自立支援を振り返る～	129
シンポジウム 11	「施設に住まうことと看取り」	136
シンポジウム 12	「当事者家族が語る『食支援』」	141
シンポジウム 13	「患者家族が振り返る『看取り』」	144
スピリチュアル部会	スピリチュアルとスピリチュアルケアの間	146
コミュニティケア部会	ごちゃまぜ福祉で幸せを創る ～思いやりに満ちたコミュニティを目指して	147
グリーフケア部会	いかにコミュニケーションを図るか訪看の日々	149
災害支援チーム	大規模災害 被災者に寄り添うということ	151
集まれ！！ボランティア	集まれ！！ボランティア	152

■口演発表		「地域づくり・連携」
1-1	「ショッピングセンター閉店」地域課題にケアマネジャーとして向き合う ～食料食材の買い物調査の取り組みと結果	159
1-2	「地域資源を活用するために」 ～介護支援専門員が地域に出向き、活動を知る～	160
1-3	みんなで富士川町を盛り上げるじゃんけ!	161
1-4	「あなたを遺してゆくことが気がかり」の声に「おたがいさまシート」が有効であった2例～おひとり様お二人様をささえるおたがいさまのまちづくり	162
1-5	カフェ「マーノマーノ」に託す在宅ボランティアの思い	163
1-6	知的障害のある子どもと高齢の親が地域で生活を続けるための支援	164
1-7	ツールを使用した連携における、介護支援専門員の役割 ～ICTツールを使用した看取りの事例を通して～	165
1-8	施設での看取りをサポートする体制の検討	166
<b>【意思決定支援 ACP】</b>		
1-9	捨てる薬を減らしたい! 患者死亡後に廃棄した医療用麻薬統計	167
1-10	自宅で最期を迎えたい	168
1-11	本人の本当の思い ～住み慣れた家で最後まで暮らすために～	169
1-12	在宅看取りに関わる多職種連携の質を深める協働的かつ継続的な取り組み	170
1-13	多職種で行う動作介助勉強会	171
1-14	緩和ケア委員会発足までの取り組みと今後の課題 ～より良い緩和ケアの提供を目指して～	172
1-15	突然ですが、「お遍路」に行きました! ～日本のホスピスの源流を探し求める旅と考察	173
1-16	バン格拉デイッシュ看護学校建設プロジェクトのあゆみ ～お礼に変えて～	174
<b>【ACP チームアプローチ 意思決定支援】</b>		
1-17	終末期における迅速な在宅移行について	175
1-18	認知症の診断を受けている利用者の意思決定支援	176
1-19	意思決定を多職種で支援する際のMSWの役割について ～本人らしい最期を迎えるために～	177
1-20	地域と病院が協働して行う意思決定支援 ～訪問看護師と病院看護師の連携を強める取り組み	178
1-21	「あるがまま」の支援を通じた、理念の継承と意思決定支援	179
1-22	最期について一緒に考える支援	180
1-23	最後までご自宅で大好きなお酒を飲んで過ごしたT様の事例	181

	<b>【意思決定支援 チームアプローチ】</b>	
1-24	経済的困窮や身寄りの乏しさを自覚する患者の自己決定支援 ～一人のがん患者を通して学んだこと	182
1-25	ACPにおけるリハビリテーション専門職の役割	183
1-26	在宅終末期がん療養者とその家族の希望を叶えるためのACP	184
1-27	老健での看取りケア ～認知症でも最後まで自分らしく～	185
1-28	あなたはどんな医療をのぞみますか？薬剤師の視点から～（専門職種のエゴと死生観）	186
1-29	終末期にある患者、家族、医療者間における「鎮静」に対する認識のずれの要因	187
1-30	がん遺族にとっての終末期鎮静の意味	188
	<b>【看取り 在宅ホスピス・緩和ケア】</b>	
1-31	トータルサポートマネジャーの養成及び実践活動の報告	189
1-32	急性期病院外科病棟での終末期看護における苦手とを感じる理由	190
1-33	それぞれの思いを支える看取り介護 ～施設の職員として私たちにできる事	191
1-34	互いの愛に包まれながら看取りができた事例	192
1-35	終末期に行うディグニティセラピーの導入を可能にする要因	193
1-36	がん治療期から終末期へ移行した患者にナラティブ・アプローチを行った1事例	194
1-37	家族と支えた母親らしさ	195
	<b>【チームアプローチ・その他】</b>	
1-38	マージナル・マンとしての認知症利用者 ～その心の世界を理解し、生き方を考える	196
1-39	高齢者の在宅療養における鍼灸師の関わり方について	197
1-40	失語症に重度仮性球麻痺を合併した症例の家での「食べる楽しみ」を支えた チームアプローチ	198
1-41	施設連携委員会の取り組み内容	199
1-42	膵臓がん・胸腰椎転移したAさんと夫の漠然とした不安から自信を取り戻す までの看護支援と看護師の役割 ～Aさんらしい生活をチームで支える～	200
1-43	その人のために皆でよい仕事がしたい ～独自に行った介護事業所学習交流会の報告～	201
	<b>■ポスターセッション</b>	
2-1	山梨県、無尽の謎・・・	204
2-2	前立腺癌末期患者の退院支援を通して患者が安心して療養できるための援助 ～山間部の看護の連携を通して	205
2-3	地域で開催するがんカフェの意義	206

2-4	多職種をつなぐ ～早川町・身延町の顔の見える関係づくりへの取り組み	207
2-5	がん患者サロン活動の現状と課題	208
2-6	小児患者の在宅終末期における意思決定支援 ～短くも豊かに生きた彼女たちからの宿題	209
2-7	乳がんサバイバーの手記から見た意思決定と変容	210
2-8	「家に帰りたい。」という終末期がん患者の在宅療養支援	211
2-9	がん終末期と難治性疾患を抱えたA氏の病状進行に伴う家族の危機 ～二重ABC-Xモデルによる分析	212
2-10	自宅で看取りたいと希望している次女に病院、往診委、訪問看護、福祉用具 が連携して支援できたケース	213
2-11	退院を見据えた緩和ケア病棟での食欲不振に対する多職種の関わり ～「おいしい」その笑顔が見たくて～	214
2-12	家族は食に何を求めているのか？ ～入院前からのヒヤリングからの一考察	215
2-13	配偶者喪失時の感情・行動上の男性と女性の一致と相違	216
2-14	認知症高齢者グループホームにおける訪問看護師の実践状況	217
2-15	認知症サポートチームの展開による特養入居者のBPSD解消に向けた実践	218
2-16	特別養護老人ホームにおける介護職の見取りの経験と成長感の関連	219
2-17	緩和ケア病棟病床利用率上昇の試み	220
2-18	睡眠状況・BZ系薬剤の服用状況に関する来局者アンケート調査	221
2-19	想いを聴き、ねがいを叶える	222
2-20	居宅において「人生会議」に取り組むにあたり現状を知る	223
	ホスピスケアと在宅ケア（Hospice and Home Care）投稿規定	xxxi
	日本ホスピス・在宅ケア研究会のご案内	xxxv
	広告協賛	xxxvi
	後援一覧	xcii
	大会開催にご協力を頂いた企業	xcii
	委員一覧	xciii